

旧広島陸軍被服支廠について

1 建物の概要

所在地：広島市南区出汐二丁目4番64号

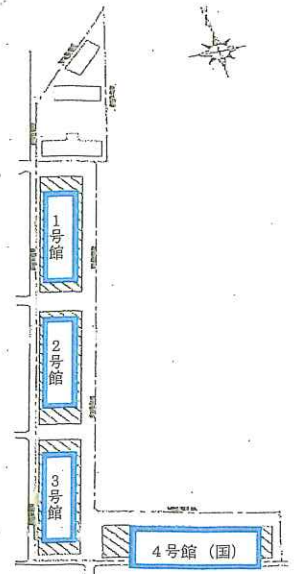
所有者：広島県（第1～3号棟）、中国財務局（4号棟）

構造：鉄筋コンクリート造3階建て

建築面積：2,340.09㎡（第1～3各号棟）、2,684.29㎡（4号棟）

延床面積：5,578.66㎡（第1～3各号棟）、4,985.12㎡（4号棟）

敷地面積：12,490.02㎡（第1～3号棟合計）、4,716.20㎡（4号棟）



2 沿革

- | | |
|----------|--|
| 大正 2年 8月 | 陸軍被服支廠として竣工
軍の施設として、軍服や軍靴などの製造、修理、保管及び供給拠点として使用 |
| 昭和20年 8月 | 被爆者の臨時救護所として使用 |
| 昭和21年 | 広島高等師範学校として使用 |
| 昭和27年 | 旧大蔵省と広島県の財産交換により第1～3号棟を広島県が取得 |
| 昭和31年 | 日本通運に有償貸付（～平成7年3月） |
| 平成 7年10月 | ひろしま国体局に2号棟の一部を倉庫として使用承認（～平成9年3月） |

（出典）文化庁、厚労省、広島県等の資料より井上事務所作成

外交防衛委員会 2020年4月16日 日本共産党 井上哲士